

日本弁理士会主催セミナー

「農林水産分野における先端技術と知財戦略

—技術動向の把握から産学連携・事業化まで—（Zoom ウェビナー）」開催のご案内

近年、農林水産分野では、スマート農業、AI、IoT、ロボット、センシング技術等の先端技術の導入が進み、研究開発から社会実装・事業化に至るまで、知的財産を戦略的に活用することの重要性が高まっています。特許庁においても、近年注目されるスマート農業や新規植物に関連する「先端的農業技術」について、特許出願状況や論文発表状況等の調査が行われています。

そこで、本研修では、農林水産分野における先端技術の動向を把握するとともに、大学における知財活動や産学連携、研究成果の事業化において知財をどのように活用していくかについて考えます。

第1部では、特許庁担当官より、先端的農業技術に関する特許出願技術動向調査について、その調査結果や注目すべき技術動向等を解説いただきます。

第2部では、北海道大学 産学・地域協働推進機構の特任教授・弁理士より、大学における知財活動の現状と課題を踏まえ、特許庁の技術動向調査や IP ランドスケープの研究開発・事業戦略への活用、知財の発掘、権利化、契約、事業化支援等について解説いただき、こうした場面で弁理士が果たす役割についても考えます。

農林水産分野における先端技術と知財戦略を、技術動向から産学連携・事業化まで幅広く学ぶ機会として、ぜひご参加ください。

■概要

日時：2026 年 11 月 6 日（金）10:00 ～12:05（休憩あり）

定員：Zoom ウェビナー100 名

会費：無料

対象：どなたでもご参加いただけます。

■内容

第1部：先端的農業技術に関する特許出願技術動向調査について（10:00-11:00）

- ・講師：特許庁 総務部企画調査課 知財インテリジェンス班 課長補佐 中村 俊之様
- ・概要：

特許庁は、先端的農業技術に関する特許出願技術動向調査結果を令和8年2月に発表しました（※）。本講演では、当該調査内容について、特許庁担当官から説明を頂きます。

※発表資料

検索式に基づいた試行的特許出願技術動向調査報告書（要約）

—先端的農業技術 令和8年2月 特許庁

（ https://www.jpo.go.jp/resources/report/gidou-houkoku/tokkyo/document/index/2025_agri.pdf ）

第2部：大学発イノベーションを支える知財戦略

— 特許・ノウハウ・データの活用と弁理士の役割 —（11:05-12:05）

- ・講師：北海道大学 産学・地域協働推進機構 特任教授／弁理士 天野 斉 先生
- ・概要：

農林水産分野をはじめとする先端技術分野では、大学発スタートアップや産学連携の拡大に伴い、研究成果に係る特許、ノウハウ、データ等を横断した知財戦略が重要となっています。本講演では、大学での知財活動の現状と課題を整理し、特許庁の技術動向調査や IP ランドスケープを研究開発・事業戦略に活かす方法を紹介するとともに、知財の発掘、権利化、契約、事業化支援を通じて弁理士が果たす役割を検討します。

■申込

以下の URL からお申し込みください。

※本申込フォームは一般参加者専用です。会員（弁理士）は弁理士研修システムから申し込みください。

＜申込期間＞2026 年 10 月 2 日（金）～2026 年 11 月 4 日（水） 23 : 59

<https://forms.gle/uPQyoYGAQJpKdJLt7>

※会員（弁理士）は以下よりお申し込みください（要ログイン）。

【集合】<https://jpaakenshu.jp/tss/Login/Jump/?typeID=3&code=26B46401>

【Zoom ウェビナー】<https://jpaakenshu.jp/tss/Login/Jump/?typeID=3&code=26B464Z1>

[問合先]事務局 業務国際課 農林水産知財対応委員会担当

TEL 03-3519-2703 MAIL gyoumukokusai@jpaa.or.jp